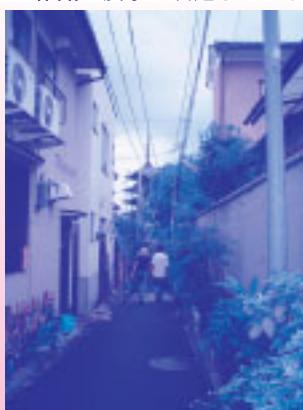


学長表彰

この度、山本剛志さん（住環境デザイン学科4年）が学長表彰を受けることとなりました。これは、財団法人国際文化カレッジが主催する第10回総合写真展に作品を出品し、審査の結果、「審査員奨励賞」および「佳作」を受賞されたことに伴い決定したもので、学長表彰式は、3月15日（木）に挙行される学位記授与式後、卒業生が学科ごとに学位記の授与を受ける教室において開催する予定です。山本さんは、昨年12月に東京で開催された同財団が主催する表彰式にも出席されました。この写真展は、年に一度開催され、写真愛好家などに広く発表の場を提供する全国規模の公募展です。入選・入賞作品は、3月27日（火）～4月3日（火）に東京美術館で開催される「第10回総合写真展・記念特別展」にて公開されますが、山本さんが受賞した2作品は展示が決定しています。



「卒業設計展2007」開催!!

建築創造・住環境デザイン学科2期（卒業）生による「卒業設計展2007」を、2月10日（土）～2月12日（月・祝）の3日間、呉市宝町の呉市海事歴史科学館（大和ミュージアム）4階市民ギャラリーにおいて開催しました。

昨年度に続き2回目の開催となった今回のテーマは『Heart』。

『Heart』とは、未来に対する建築への思いを学生の集大成（アート）として、40名の学生が、40通りのハートで表現しています。ハートという形には、大学生活での喜びや苦労、先生・仲間たちへの気持ちがこもっています。

今回の卒業設計展の代表者である藤井浩志さん（住環境デザイン学科4年）は、「昨年よりもさらに良い設計展にするということと4年間の集大成として、最高の発表の場として、学内の方々だけでなく、お世話になった地域、保護者の方々にもぜひ見ていただきたいということを目標に設計展に取り組みました」と話す。

期間中の来場者は、昨年度を上回る約260人にもものぼり、多くの人々は興味深く作品を見入っていました。来場者に実施したアンケートでは、「4年間の頑張りが見えた」「いろいろな感性に触れて、楽しかった」という賞賛の意見の一方で、「もっとイベントをPRした方が良い。たまたま来たけれど設計展があることを知らなかつた」「もっと呉や大和に関わった作品を作ってほしいと思った」など、来年度への改善点も発見することができました。こうした貴重な意見を来年度に生かして、より良い設計展となることを願っています。

なお、この卒業設計展は学内でも開催し、多くの学生が会場に足を運び作品を鑑賞しました。



新たな旅立ちを祝い、留学生送別会開催!!

今春、本学を旅立つ14名の留学生は、本学在籍中に様々な経験を積み重ね、次なるステージへと進んでいきます。彼らの新たな旅立ちを祝すとともに卒業までの労をねぎらい、2月1日（木）、東広島キャンパス2号館8階『さくら』で留学生送別会を開催しました。

会場には、上里学長をはじめとする21名の教職員が出席し、留学生との別れを惜しみました。送別会では、留学生と教職員の懇談の輪がいくつも広がり、さらに吹奏楽部員によるビートルズの『Let It Be』などの演奏も加わり、終始和やかな雰囲気でした。卒業する留学生から本学で過ごした思い出を一人ひとり述べるとともに、最後に留学生を代表して石 云哲くん（情報通信学科）が在籍中にお世話になった教職員に対し、心のこもった感謝の言葉を贈りました。



金曜ゆめ俱楽部 後期全日程を終了！

呉キャンパス

半年間ありがとうございました。

「何か楽しいことをしようよ」を合言葉に、2006年度後期から本格的に活動を始めた『金曜ゆめ俱楽部』ですが、盛況のうちに後期の全日程を終了しました。映画「ALWAYS 三丁目の夕日」からスタートして、エアロビクス、ダンスバトル、TVゲーム大会、クリスマスツリー点灯式、X'masパーティーなどの計10回、様々なイベントを企画しました。みなさんお楽しみいただけましたでしょうか？

延べ300名の参加がありましたが、アンケートでは毎回「楽しかった」と答えてくれた方が多く、スタッフ一同感激しています。イベントに参加してくださったみなさん、スタッフのみなさん、ありがとうございました。



金曜ゆめ俱楽部 <http://mathstar.kure.hirokoku-u.ac.jp/dream/>

金曜ゆめ俱楽部では、企画・運営スタッフを大募集しています。

「一緒に広國大をつくりませんか？」
少しでも興味のある方は学務課まで！